

エアロゾルの気候影響に関する数値シミュレーション

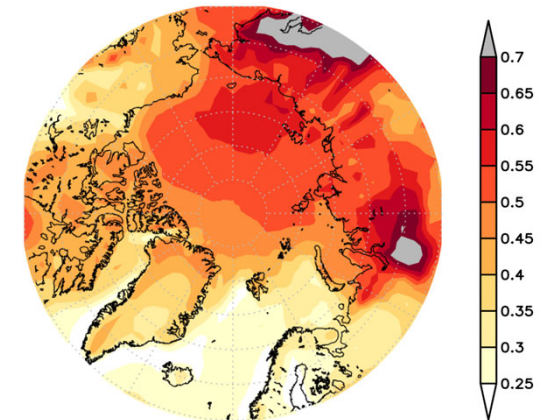
名古屋大学 大学院環境学研究科 松井 仁志

目的 エアロゾルの時空間分布と気候影響を予測する。

内容 大気中の微粒子（エアロゾル）のグローバルな時空間分布やその放射・雲過程への影響を予測した。

結果 ブラックカーボン（黒色の炭素粒子）について、北極域における大気・雪氷の加熱効果を推定・評価した。また、氷晶核（固体の雲粒を形成する微粒子）について、温暖化に伴う数濃度や雲影響の変化を推定・評価した。

利用した計算機 SQUID 汎用CPUノード群
ノード時間 117955 時間
並列化 8ノード 並列



北極域のブラックカーボンの大気加熱効果 (W m^{-2})